学校番号	２１４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	論理国語「精選論理国語」　（三省堂）						
副教材等	最新国語便覧　（浜島書店） 重要頻出漢字リアルマスター３３００（尚文出版） 語彙力と読解力をつける現代文単語（数研出版） 日本文学史要点チェックノート 錬成現代文（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に着けてください。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。事業中は板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気づいたこと、クラスメイトの発言した内容などを自発的にメモする習慣をつけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国語に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、主体的に文章に触れ親しむ態度を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、適切に使っている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者とかかわったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書かれている内容を理解し，論理的に考えることの意義を知る。 ［教材］ 論理力と思考力 ネット上の発言の劣化について	a:この社会の原理や原則を形作る言葉が生まれた経緯に立ち戻って考えると、現代のさまざまな課題が浮き彫りにされていることを知る。 b[　読　]:文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している c:語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ，今までの学習を生かして自己の知識や経験と関連付けて，自分の意見をまとめ，発表しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート レポート 授業プリントなど
	具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み，地球環境と人間の関係を新たな枠組みで考える。 ［教材］ マルジャーナの知恵 記号を使う動物	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]:文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c:筆者の論の進め方を捉え，学習課題に沿って「新造語」の意味することへ思考を広げる。地球環境に対する見方を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート レポート 授業プリントなど
二学期	具体例に注目して筆者の主張を理解し，芸術の見方、情報のとらえ方について考える。 ［教材］ 情報の「メタ」化 世代倫理としての環境倫理学	a:・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 b[　書　]:実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について，書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集，整理して，目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 c:「論理的な文章」の構造を学ぶ重要性をつかみ，社会生活とつなげて考える。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート レポート 授業プリントなど
	具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み，言語と自己と物語の構造について考える。 ［教材］ 病と科学 ミロのヴィーナス	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]:文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート レポート 授業プリントなど
三学期	資料を整理し、テーマを吟味する ［教材］ 「なぜ」に答えられない科学 AI 時代の「人間」 ［教材］	a:実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について，書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集，整理して，目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 b[　書　]:，多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり，根拠や論拠の吟味を重ねたりして，主張を明確にしている。 c:資料の収集・整理の方法を理解し，学習の見通しをもって収集した資料の論点を整理してテーマを見直し，適切なテーマを捉えている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート レポート 授業プリントなど

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間